



平成29年1月4日 大ホールにおいて。

私たちの理念

心が通い、信頼される医療

私たちのめざす医療

1. 皆さまの権利とプライバシーを尊重します。
2. 十分な説明と同意のもとに、最新かつ安全なチーム医療を行います。
3. 地域に開かれた病院として、健康と福祉の向上に努めます。
4. 確かな医療技術と豊かな人間性を備えた医療人を育てます。

Kurume University Medical Center
久留米大学医療センター

〒839-0863 福岡県久留米市国分町 155-1

☎ 0942-22-6111 (代)

<http://iryo.kurume-u.ac.jp>

Contents

新 年のごあいさつ
医 療センターでの医学生教育
イ ンフルエンザの予防について
新 任医師紹介
院 内コンサートが開催されました
昔 の遊びを伝える

丁酉（ひのととり）：人に尽くす気持ちや行動が自然に生まれて、成功や成果を授かる

病院長 廣松 雄治



新年明けましておめでとうございます。2015年に久留米大学病院との機能分化により、先進漢方治療センターや整形外科・関節外科センターを拡充し、足病変(フットケア)・皮膚潰瘍治療外来や地域包括ケア病棟を新設し、2016年にはさらに総合診療科を新設して、大きく変革change致しました。この4月にはプライマリ・ケアセンターを開設して、地域に密着した診療を推進し、職員一同、一丸となって地域や社会のニーズにあった診療の提供に努める所存です。

今年も新専門医制度や地域包括ケアシステムへの対応など医療環境の変革が続きますが、これらも当センターの発展のchanceと捉えて、叡智をもってchallengeしていきたいと考えています。

「心が通い、信頼される医療」を理念に、患者さん中心の医療を実践し、病診連携を進めて、皆様に愛され信頼される病院を目指します。

職員一同、「チーム医療センター」として診療・教育・研究に協働collaborationする所存です。

今年も皆様の温かいご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

新化する医療センター

看護部長 井上 久子



新年あけましておめでとうございます。今年も皆様のおかげで無事に新しい年を迎えることができました。

医療センターは、大学病院との機能分化で、着実に変化してきました。整形外科関節領域のほとんどを担うようになり、高齢者の人工関節置換術をはじめ若い世代のスポーツ選手まで幅広い層の患者さんを受け入れるようになりました。地域医療構想のもと、「時々入院ほぼ在宅」を念頭に、患者さんが安心できる退院支援、調整に力を入れています。また看護部では、地域の施設、訪問看護ステーションの方々と“看護塾”という形で研修を行い、互いに顔の見える交流を通して「つなぐ看護」の推進にむけて努力しております。

医療センターは、今年度からプライマリーケアセンターが開設されます。総合診療医を中心に職員一丸となり、質の高いチーム医療を提供できるようさらに新化し、一層地域の皆様に貢献できる病院を目指していきたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

地域医療の一翼を担って

事務部長 佐多 慎輔



新年明けましておめでとうございます。

平成27年1月に地域包括ケア病棟が開設され1年が経過しました。多くの患者さんが退院後、自宅等での健康な生活に戻り病院としての使命を果たせていると考えています。さらに今年4月にはプライマリーケアセンターが開かれます。地域医療の一翼を担う医療センターも患者さんや医療機関等のニーズに応えながらより地域に密着した病院へ進もうとしています。

地域との窓口である当院の医療連携推進室では看護師、社会福祉士等を中心にして地域の診療所・介護施設等と連携し、患者さんへの入退院支援、相談窓口業務、患者家族との面談、支援の充実、連携する医療・介護機関の皆様のニーズに対応すべく連携強化に努めてまいります。さらに、医療センターの各診療科はもちろんです、大学病院との連携体制もより整備し、安心して治療を受けていただけるように対応してまいります。

引き続き皆様のご理解とご指導ご鞭撻をよろしく願いいたします。

お気づきになった方々もいらっしゃると思いますが、医療センターでは久留米大学医学部学生の臨床実習を積極的に受け入れています。学生が将来一人前の医師として育っていくために、その学習の場を提供するのも、教育病院である医療センターの重要な役割の一つです。最近、参加型の臨床実習の必要性が叫ばれており、医療センターでも単なる見学にならない、学生が医療チームの一員として参加できるような臨床実習を目指しています。ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



総合診療科には現在、医学部5年生が二週間ごとに1名ずつ、外来診療の実習に来ています。学生は、承諾をいただいた患者さんに対して、お話をお聴きしたり、聴診などの診察をさせていただいたりしています。学生にとってはこれまで学んだ知識や診察のスキルを十分に発揮してもらう機会であり、緊張しながらも、一生懸命、実習に取り組んでいます。勿論、学生の教育のために患者さんに不利益があっては いけません。指導する私としてはそのようなことがないよう、十分に監督を行い、患者さんに対する質の高い診療を保证するように心掛けています。

学生は医学的知識については不十分かも知れませんが、医師よりも患者さんに近い存在であるため、私が聴くことができなかつた情報を聴いていたりすることがあります。そのようなときは反省させられるとともに、指導医と学生はお互いに教えあう関係にあると実感します。そして、学生も私も、患者さんから本当に多くのことを教えられています。通常よりも時間が長くなってしまうことが少なくない総合診療科の外来診療ですが、その分、患者さんに満足していただけるよう、チーム全員で質の高い診療を提供していく所存です。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。



実習の様子

インフルエンザの予防について

医療安全・感染対策室 江崎 祐子

今年もインフルエンザの流行の時期がやってきました。今シーズンは例年よりも早く流行入りしていますので、十分に予防を行っていきましょう。

【インフルエンザの予防】

咳エチケット

手洗い

ワクチン

お互い様の心



咳やくしゃみが出る方は、マスクをつけましょう。これは他の人にインフルエンザや風邪などをうつさないためです。マスクを持っていない場合は、ティッシュや腕の内側で鼻と口を押さえて他の人から顔をそむけ、その後に、手をよく洗いましょう。また、マスクは、不織布のものを使い、鼻と口をしっかりとおおうことが大切です。



手洗いはとても大切です。私たちの手には目には見えないばい菌がたくさんついていますし、ドアノブや手すりなどには、インフルエンザなどの病原性があるばい菌がついている可能性もあります。不特定多数の方がたくさん触れた場所を触った後には、しっかりと手を洗うことで自分自身へばい菌をつけない予防が大切です。外出から戻った後や、病院へ来たときなどには手洗いや、手の消毒をお願いします。



「熱が高くて、もしかしてインフルエンザかも？」と思った場合には、仕事や学校に行く前に早めに医療機関を受診し、安静にし睡眠をしっかりと取りましょう。インフルエンザを発症した方が我慢して会社や学校に行き他の方にうつしてしまったり、時には多くの方にうつしてしまうことがあります。「具合が悪いときにはお互いに休みましょう」という気持ちをお願いします。

久留米大学医療センターでは、インフルエンザ予防のために、手洗いや咳エチケットを推奨しており、職員は予防に努めております。予防のために患者さんにも手洗いや、マスクの着用をお願いすることがあります。また本格的に流行期に入りましたら、面会の制限などを行うこともありますので、ご協力をお願いいたします。

新任医師紹介

以下の診療科にて、2名の医師が新しく赴任しましたのでお知らせいたします。
何卒よろしくお願い申し上げます。



ヨシカワ タカヒロ
氏名：吉川 尚宏

役職：助教
診療科：循環器内科
着任日：平成28年10月1日付



カタヤマ ケイ
氏名：緒方 啓

役職：講師
診療科：消化器内科
着任日：平成28年11月16日付

院内コンサートが開催されました

平成28年12月23日(天皇誕生日)に、院内ボランティアコンサートが久留米大学医療センタースタッフ有志により、エントランスホールにて開催されました。

開演時刻になった頃には、既に多くの入院患者さんやそのご家族の方でホールがいっぱいになりました。およそ1時間にわたり定番のクリスマスソングから「アイアイ」「ふるさと」などの日本の民謡や童謡、「明日があるさ」「365日の紙飛行機」などを披露いたしました。涙を流されて聞き入っていらっしゃる方もおり、美しい歌声に多くの方が心癒されたのではないのでしょうか。

また、「きよしこの夜」のハンドベル演奏や今話題のピコ太郎の「PPAP」、そしてドラマで話題となった「恋ダンス」も披露され、大いに盛り上がりました。

年末のお忙しい中、準備や片付けなどのボランティアとして参加して下さった方々、ご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。



ハンドベル演奏



エンディング「365日の紙飛行機」の様子

昔の遊びを伝える

幼稚園や小学校において「昔の遊び」というテーマでボランティアで講師を務めておられます。竹細工や紙細工など、たくさんの作品を子供たちと共に作られています。



いただいた風車



住田 哲也さん

診療科名	月	火	水	木	金
総合診療科	向原圭 杉山元 久賀征一郎	向原圭 緒方啓	向原圭 杉山元	向原圭 消化器内科担当医 藤田博正 内田信治	向原圭 久賀征一郎 緒方啓
消化器内科	甲斐久史 加藤宏司 原田晴仁	甲斐久史 新山悠一 服部悠一	甲斐久史 加藤宏司 吉川尚宏	原田晴仁 新山悠一 服部悠一	加藤宏司 原田晴仁 吉川尚宏
循環器内科	甲斐久史 加藤宏司 原田晴仁	甲斐久史 新山悠一 服部悠一	甲斐久史 加藤宏司 吉川尚宏	原田晴仁 新山悠一 服部悠一	加藤宏司 原田晴仁 吉川尚宏
禁煙外来 月・火	甲斐久史 (午後)	甲斐久史 (午後)			
内分泌代謝内科	廣松雄治 江口洋幸 中村由育	廣松雄治 江口洋幸 中村由育	廣松雄治 江口洋幸 中村由育	廣松雄治 中村由育	中村由育
呼吸器内科	今岡治樹 (午前)				松本久美 (午後)
精神科	山田英孝	山田英孝 (午前)			山田英孝
(もの忘れ外来) (予約制)		山田英孝 (午後初診)		山田英孝 (午前・午後再診)	
小児科	大津寧子 中聡	牛島高介 大山口紀子	大津寧子	牛島高介 中聡	大津寧子
(専門外来)	腎臓		腎臓	消化器・肝臓	腎臓・小児成人病
病理診断科		山口倫 (午後のみで完全予約制)			
整形外科・ 関節外科センター (午前)	大川孝浩 久米慎一郎 田淵幸祐 石橋千直 伊藤弘雅	本多弘一 江崎佑平	大川孝浩 藤井康千 光石橋千直	野口幸志 田淵幸祐 伊藤弘雅 江崎佑平 鈴木康一	久米慎一郎 光野口幸祐 本多弘一
(午後) (予約制)		樋口富士男 (予約再診のみ)		野口幸志 田淵幸祐 伊藤弘雅 (予約制) 稗田寛 (第2のみで予約制)	後藤昌史 (予約制)
リウマチ・ 膠原病センター	中島宗敏 山崎聡士 名護健	中島宗敏 山崎聡士	鮎川竜祐	山崎聡士 若杉大輔 田中順子	中島宗敏 若杉大輔 外来担当医
リハビリテーション科		荻野美佐	柳東次郎(第1・3) 馬場敦子(第2・4) 田中順子(第5)		
泌尿器科	林篤正		野口正典 (完全予約制) 林篤正	林篤正	林篤正
皮膚科	丸田康夫	丸田康夫	丸田康夫	丸田康夫	丸田康夫
眼科	大学病院非常勤医 (午前のみで完全予約制)			大学病院非常勤医 (午前のみで完全予約制)	
放射線科	財前翠 (午前) 内田政史 (午後)	財前翠 (午前) 内田政史 (午後)	財前翠 大学病院非常勤医	内田政史 財前翠	内田政史 財前翠
がんワクチン外来 (午前)		伊東恭悟	由谷茂	伊東恭悟 由谷茂 内藤雅康 織田慶子	伊東恭悟 由谷茂 坂本信二郎
(午後)		伊東恭悟 野口正典 古賀紀子	末金茂高 由谷茂 河野光一郎 朔周子 唐宇飛(隔週)	伊東恭悟 由谷茂 守屋普久子 古賀紀子 大園秀一(第1・3・5) 中川慎一郎(第2・4)	伊東恭悟 由谷茂 坂本信二郎
先進漢方治療センター	午前・午後 予約制 恵紙英昭 (漢方精神科・内科)	午前・予約制 (漢方精神科・内科・産婦人科) 恵紙英昭 駒井幹 午後・予約制 (漢方精神科・内科) 恵紙英昭 沈龍佑	第3午後のみ・予約制 (漢方皮膚科) 清川千枝 (恵紙英昭)	午前のみ (漢方内科・小児科) 八木実 薬師寺和昭 午後のみ (漢方内科・女性外来) 亀尾順子 (漢方泌尿器科) 黒川慎一郎	午前・予約制 (漢方精神科・内科) 恵紙英昭
足病変(フット)・ 皮膚潰瘍治療外来	井野康	井野康	大学病院非常勤医 午前のみ	井野康	井野康

受付時間：午前8時30分～午前11時 診療日：月～金 麻酔科：術前診療のみ(予約制) 休診日：土・日・祭日・年末年始・盆休(8/15)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
今年の干支は酉、初鶏の“コケッコ”で新年を迎えられた方もいらっしゃるかと思います。さて広報誌34号は新年号として、医療センターの新しい取り組みや、役に立つ情報を紹介しようと企画・編集いたしました。いかがでしたでしょうか。これからも皆様に親しまれる広報誌を目指し、情報を発信してまいります。ご意見・ご感想などをお寄せください。お待ちしております。(N.Z.)